

あしは
葦の葉

かしこく やさしく たくましい 吉田っ子の育成
～地域と共に、9カ年の学びのなかで～
〇やる気いっぱい 〇笑顔いっぱい 〇元気いっぱい 〇優しさいっぱい



2024年 ～2学期後半スタート～



あけましておめでとうございます。

吉田小学校も、子どもたちの元気な声が響き、2学期後半がスタートしました。今年度の残りの登校日数は、51日（6年生49日）です。目標「かしこく やさしく たくましい吉田っ子育成」のため、職員一丸となって頑張っていきます。

今年は元旦から能登半島地震があり、甚大な被害がありました。現地のことを考えますと本当に心が痛みます。いつ、どこで起こるか分からない災害を自分事と考えなければと思ったところです。被災地の皆さんが少しずつでも前を向けるよう何か出来ることはないか、子どもたちと考えてみようと思います。

【校長先生の話 ～2学期後半スタート全校朝会～】

「百聞は一見にしかず」（ひゃくぶんはいっけんにしかず）実際に自分の足で出向き、自分の目で見ることが大切である、という意味です。

この言葉には、続きがあります。（出典は「漢書：趙充国伝」の「百聞不知一见」）

「百見は一考にしかず」

「百考は一行にしかず」

聞くより見ること、見ることより考えること、考えることより実行することが大切だという意味です。でも、これをバラバラに考えるのではなく、ひとつながりの言葉として捉えて見ましょう。

つまり、思い描いた成果を出すには、よく聞いて、真実をしっかりと見て、自分の頭で考えて、実際にやってみなければよい成果にはつながらないということです。

吉田小学校のめあてにも「やる気いっぱい 聞き方・話し方・書き方名人」があります。

学校は間違えて良いところです。ぜひ、実行することを恐れずにチャレンジすることを大切にしてください。

オンライン学習の可能性

12月22日は、大雪が心配されたため児童の安全面を考え、オンライン学習に切り替えました。急な対応で保護者の皆様には、ご迷惑をおかけしましたが、保護者の皆さまのご協力のおかげでスムーズに進めることが出来ました。吉田小学校は結果的に心配していた積雪も少なく、被害も無くホッとしましたところ。

他市に住んでいる職員の中には、積雪で定時の出勤が難しい者もありましたが、自宅からリモートをつないで学級取り扱いを行いました。今回、オンライン学習に取り組み、もしもの有事の時に、「子どもの学びを止めない」「子どもとつながる」方法が、見えてきました。

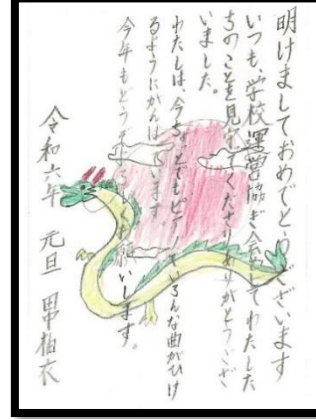
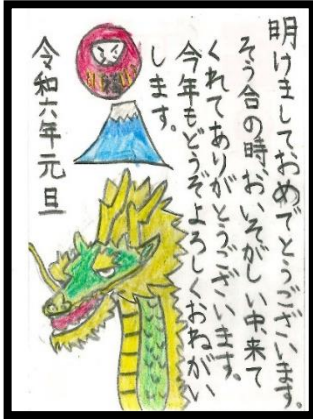


年賀状のふれあい

12月に子どもたちは、お世話になった地域の皆さんへ年賀状を書き投函しました。すると、有難いことにお返事をいただきました。地域の方々の子どもたちへの愛情、見守り、学校への期待を感じます。

今後、様々な郷土学習、体験学習を取り入れ、地域と共にある学校を目指します。

【子どもたちから地域の方へ】



【地域の方から子どもたちへ】



地域の皆様から子どもたちへの年賀状を多数いただきました。文面から子ども達の成長を願う温かい気持ち伝わってきました。ありがとうございました。

認知症サポーター誕生！

12月26日（火）嬉野町保健センターで開催されたボランティアスクールに6年生の希空さん、大翔さん、佳佑さん、功明さん、陽斗さん、笑那さんの6人が参加しました。認知症サポート養成講座の溝口さん、野中さん（吉田在住）に、認知症についてわかりやすく教えていただきました。認知症サポーターとは、認知症の方の「応援者」、温かい目で見守る人です。オレンジリングを受けた取った6人と共に、認知症の方はもちろん、誰でも安心して暮らせる町づくりに一歩ずつ歩いていけたら良いですね。



ボランティア委員会の取組



12月に実施しました赤い羽根共同募金で、全校で5480円集まりました。嬉野市社会福祉協議会に届けました。ご協力ありがとうございました。



フラワー大作戦で、植えて育てた花を、吉田保育園に届けました。